

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
492 交通安全施設整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	2	都市機能や市民生活を支える道路網の整備
施策	2	生活道路の整備
取組方針	3	安全で快適な道路環境の整備及び通学路の安全確保

事業種別	継続	
事業期間	～ 永年	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	道路管理課	木村 芳裕 435-1088
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他	○		
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	道路橋梁費		
	目	交通安全施設整備費		
	大事業	交通安全施設整備事業		
事項	交通安全施設整備事業(反則金)(単独)			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か)	事業内容				
	交通安全施設の新設、補修を実施し、交通事故を防止する。	道路の危険箇所を無くすため、交通安全施設(防護柵、ガードレール、道路反射鏡等)の新設及び補修並びに歩道の整備を行う。				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		道路の危険箇所を無くすため、交通安全施設(防護柵、ガードレール、道路反射鏡等)の新設及び補修並びに歩道の整備を行なった。	道路の危険箇所を無くすため、交通安全施設(防護柵、ガードレール、道路反射鏡等)の新設及び補修並びに歩道の整備を行なった。	道路の危険箇所を無くすため、交通安全施設(防護柵、ガードレール、道路反射鏡等)の新設及び補修並びに歩道の整備を行なった。	道路の危険箇所を無くすため、交通安全施設(防護柵、ガードレール、道路反射鏡等)の新設及び補修並びに歩道の整備を行う。	道路の危険箇所を無くすため、交通安全施設(防護柵、ガードレール、道路反射鏡等)の新設及び補修並びに歩道の整備を行う。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	93,608	93,078	102,758	87,731	124,058	103,289	93,758		90,758	
伸び率(%)	-	-	9.8%	▲5.7%	20.7%	17.7%	▲24.4%	▲100.0%	▲3.2%	-
人件費	正規職員	19,350	26,950	26,950	35,863	35,863	36,779	38,414	38,414	
	正規職員以外	602	0	0	0	0	297	799	799	
	小計	19,952	26,950	26,950	35,863	35,863	37,076	39,213	39,213	
国庫支出金			7,500			4,650	1,650			
県支出金			6,700				1,200			
市債						3,400				
その他	65,741	53,807	52,000	58,574	58,000	53,749	55,000		55,000	
一般財源(税等)	27,867	39,271	36,558	29,157	66,058	41,490	35,908		35,758	
所要人数(人)	正規職員	2.55	3.55	3.55	4.82	4.82	4.83	4.83		4.83
	正規職員以外	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.19	0.38		0.38
主な予算内訳	道路反射鏡設置工事9,600千円、道路反射鏡補修17,100千円、区画線設置8,000千円、交通安全施設設置16,086千円、交通安全施設整備工事14,500千円、所々修繕21,000千円、交差点マーク設置1,385千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
成果指標	区画線設置委託	m	目標値				
			実績値	10,449	14,260	13,021	
			達成度(%)				
	道路反射鏡設置工事、道路反射鏡補修、交差点マーク設置、交通安全施設設置工事	箇所	目標値				
			実績値	685	675	603	
			達成度(%)				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	○ 貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市道自体が増加傾向であるので、整備する交通安全施設も増加せざるを得ない。
見直し・改善内容	